

新年のご挨拶

代表理事組合長 奈良 寧



あけましておめでとございます。組合員、そして地域の皆様には新たな年を迎え、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より農協運営にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。今冬の豪雪により被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。当JAでは、早急に豪雪対策本部を設置し、対策支援に取り組むことといたしました。さて、昨年を振り返りますと、春先は温暖な気候に恵まれましたが、りんごについては凍霜害・カラマツ・マメコバチが飛んでいないなどの影響を受け、200万箱を下回る入庫となりました。また、近年市場で評価の高まっている「津軽の桃」については、販売高1億6800万円を超え、更なるブランド確立に力を入れて参りたいと考えております。米については、田植え直後の低温が心配され

ましたが、7月の日照量、出穂期の天候に恵まれました。「103」の作況指数で「やや良」となり経営には好材料となったものの、集荷競争によりJAにおいては厳しい集荷状況となりました。野菜については、大根、キャベツといった高冷地野菜の販売は概ね良好だったものの、人参については価格の低迷で、思うような販売結果にはなりませんでした。平場野菜では、ミニトマトの数量・単価が前年を上回り、販売額が8億円を超えました。更なる販売額増加を目指し、今後の目標は10億円に設定しています。にんにくについては、前年比168%の単価で推移して、3億円を超える見通しです。組合員の高齢化、後継者不足は地域全体の課題となっており、解決の方向が見出されていません。このような中ではありますが、今年も組合員と地域の暮らしを守るため、当JAの経営理念でもあります「人と自然を大切にし、社会の発展と豊かな暮らしの実現に向けて貢献してまいります」の達成に向けて、農業と地域から必要とされる「みらい」へ進むJAを目指したいと思います。今年乙巳(きのとみ)で、60年に一度の非常に縁起の良い巳年です。脱皮して成長するへびは再生の象徴ともいわれています。失敗しても不運があっても諦めない逞しい力が今年の象徴となるよう皆様にとりまして、この新しい一年がより良い年になりますよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

代表理事組合長	奈良 寧
代表理事専務 (総務管理担当)	村上 勝憲
代表理事常務 (販売担当)	山口 貴佳
代表理事常務 (営農購買担当)	小山内 忠道
代表理事専務 (信用担当専任)	津川 博征
理事	野宮 正美
理事	佐々木 満
理事	工藤 敦
理事	山内 俊博
理事	工藤 智章
理事	佐藤 英彦
理事	吹田 定義
理事	川口 悦郎
理事	山内 誠
理事	成田 義仁
理事	葛原 慶仁
理事	加藤 和夫
理事	工藤 朋恵
理事	松井 靖子
代表理事	大川 喜慎
監事	樋口 哲司
監事	成田 邦子
監事	加藤 健一
監事	比内 保幸
常勤監事	他職員一同